

2018 年度 (平成 30 年度) 学校評価自己評価表

済美	中学校区	校番 18	福山市立 瀬戸小 学校
最終更新日		2018年(平成30年) 4月1日	

I 福山市	<p>ミッション 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。</p> <p>ビジョン 「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。</p>
-------	---

II 中学校区	<p>前年度学校関係者評価の主な内容</p> <p>○かかわり合いを大切にしながら、子ども同士がつながる教育活動の推進 ○地域へのボランティア活動などを通して、自己肯定感を高め、地域貢献できる人材の育成</p>	<p>児童生徒の現状</p> <p>○基礎的・基本的な学力はおおむね定着しているが、それらを活用した思考力や表現力、またねばり強く問題に取り組む姿勢には課題がある。 ○校区一体となったあいさつや無言清掃等の取組を通して、児童生徒の集団への意識が高まっている。また集団を牽引するリーダーも育ってきている。</p>	<p>育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)</p> <p>○課題発見・解決力 ○コミュニケーション力 ○他者とかかわり合う力</p>	<p>めざす子ども像</p> <p>①自らの目標に向かって努力し、チャレンジしている。 ②場面や目的に応じた豊かな表現力を身につけている。 ③他者とかかわり合いながら共感的人間関係をきずき、共によりよく生きようとしている。</p>	<p>中学校区として統一した取組等</p> <p>○社会に関われた教育課程「校区カリキュラムマップ」の実現 ○「主体的、対話的で深い学び」のある授業づくりの研修 ○児童会、生徒会活動の活性化による規範意識と共感的人間関係の育成</p>
---------	---	---	--	---	---

III 自校	<p>ミッション</p> <p>○自己肯定感をもち、自分から進んで学ぼうとする子どもの育成 ○地域社会のために役に立ちたいという意欲をもった子どもの育成</p>	<p>学校教育目標</p> <p>自ら考え学び、貢献する子どもの育成</p>	<p>育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)</p> <p>○課題発見・解決力 ○コミュニケーション力 ○他者とかかわり合う力</p>	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">めざす子ども像</td> <td rowspan="3">小学校</td> <td>1・2年</td> <td>ことばや文章を正しくいねいに書くことができる。</td> <td>発表するとき、「わたしは(ほくは)～です。」という言い方ができる。</td> <td>あたたかい心で接し、協力することができる。</td> </tr> <tr> <td>3・4年</td> <td>分かったことや考えたことを、図や絵などを入れてかくことができる。</td> <td>相手に分かりやすいように考えて発表することができる。</td> <td>自分の役割を果たしながら、協力することができる。</td> </tr> <tr> <td>5・6年</td> <td>気づきなど自分の考えを入れたノートをとることができる。</td> <td>相手や目的に応じてわかりやすいように工夫して発表することができる。</td> <td>異なる意見や立場を尊重しながら、集団を高めることができる。</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">中学校</td> <td rowspan="3">めざす子ども像</td> <td>1年</td> <td>気になることや疑問に思ったことを入れて、自分の考えをわかりやすく書くことができる。</td> <td>気づきなど、自分の考えを入れて書くことができる。</td> <td>他者とかかわりを通して、自らの考えを深めたり広めたりしている。</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>他者の考えと自分の考えを比較関連付けて書くことができる。</td> <td>相手や目的に応じて、自分の考えを入れて、わかりやすく伝えることができる。</td> <td>他者とかかわりを通して、自らの考えを深めたり広めたりしている。</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>キーワードを入れて、根拠をあげて効果的に書くことができる。自ら課題を設定し解決しようとしている。</td> <td>図や絵などを使って、気づきや自分の考えを入れてわかりやすく説明することができる。言語技術を生かし、根拠を持って相手に分かるように表現しようとしている。</td> <td>他者とかかわりを通して、自らの考えを深めたり広めたりしている。</td> </tr> </table>	めざす子ども像	小学校	1・2年	ことばや文章を正しくいねいに書くことができる。	発表するとき、「わたしは(ほくは)～です。」という言い方ができる。	あたたかい心で接し、協力することができる。	3・4年	分かったことや考えたことを、図や絵などを入れてかくことができる。	相手に分かりやすいように考えて発表することができる。	自分の役割を果たしながら、協力することができる。	5・6年	気づきなど自分の考えを入れたノートをとることができる。	相手や目的に応じてわかりやすいように工夫して発表することができる。	異なる意見や立場を尊重しながら、集団を高めることができる。	中学校	めざす子ども像	1年	気になることや疑問に思ったことを入れて、自分の考えをわかりやすく書くことができる。	気づきなど、自分の考えを入れて書くことができる。	他者とかかわりを通して、自らの考えを深めたり広めたりしている。	2年	他者の考えと自分の考えを比較関連付けて書くことができる。	相手や目的に応じて、自分の考えを入れて、わかりやすく伝えることができる。	他者とかかわりを通して、自らの考えを深めたり広めたりしている。	3年	キーワードを入れて、根拠をあげて効果的に書くことができる。自ら課題を設定し解決しようとしている。	図や絵などを使って、気づきや自分の考えを入れてわかりやすく説明することができる。言語技術を生かし、根拠を持って相手に分かるように表現しようとしている。	他者とかかわりを通して、自らの考えを深めたり広めたりしている。
めざす子ども像	小学校	1・2年	ことばや文章を正しくいねいに書くことができる。	発表するとき、「わたしは(ほくは)～です。」という言い方ができる。			あたたかい心で接し、協力することができる。																									
		3・4年	分かったことや考えたことを、図や絵などを入れてかくことができる。	相手に分かりやすいように考えて発表することができる。			自分の役割を果たしながら、協力することができる。																									
		5・6年	気づきなど自分の考えを入れたノートをとることができる。	相手や目的に応じてわかりやすいように工夫して発表することができる。	異なる意見や立場を尊重しながら、集団を高めることができる。																											
中学校	めざす子ども像	1年	気になることや疑問に思ったことを入れて、自分の考えをわかりやすく書くことができる。	気づきなど、自分の考えを入れて書くことができる。	他者とかかわりを通して、自らの考えを深めたり広めたりしている。																											
		2年	他者の考えと自分の考えを比較関連付けて書くことができる。	相手や目的に応じて、自分の考えを入れて、わかりやすく伝えることができる。	他者とかかわりを通して、自らの考えを深めたり広めたりしている。																											
		3年	キーワードを入れて、根拠をあげて効果的に書くことができる。自ら課題を設定し解決しようとしている。	図や絵などを使って、気づきや自分の考えを入れてわかりやすく説明することができる。言語技術を生かし、根拠を持って相手に分かるように表現しようとしている。	他者とかかわりを通して、自らの考えを深めたり広めたりしている。																											
<p>現状</p> <p>〈児童生徒〉 ○少し難しいことにも挑戦しようという意欲は育ってきたが、筋道立てて考えたり粘り強く取り組んだりすることには課題がみられる。 ○縦割り班掃除など異年齢集団での活動では、上級生の姿から学んでいるが、人との関わりや自分の思いを伝えることを苦手とする児童が多くみられる。 ○児童会がすすめる「一日一善」運動などを通して、地域の清掃活動やボランティア活動に参加する児童が増えてきた。</p> <p>〈授業〉 ○「めあて」と「まとめ」を整合させ、振り返りを大切にしているが、単元を通して課題を発見し解決する授業展開はできていない。 ○ペア学習やグループ活動の場面を増やしているが、子ども同士が他者とかかわり合いながら納得解を見つけ、表現することには課題がある。</p>	<p>教科等</p> <p>理科 ・ 図工科</p>	<p>研究</p> <p>主題・内容等</p> <p>「課題を発見し解決する力をつけ、表現できる子どもの育成～実感を持った学びと、かく活動を通して～」 実感を持った学びの場を設定し、理科における問題解決場面において言語活動の充実を図り、かく活動に重点を置くことで、多様な見方や考え方のできる児童を育てる</p>	<p>めざす授業の姿</p> <p>○児童が疑問をもった事柄の中から課題を見つける授業。 ○課題解決に向け、自力で調べたり考えたりして根拠をもとにまとめる授業。 ○解決方法を全体で話し合い、友達の考えから学び、自分の考えを伝える授業。</p>																													